

# 黄色い壁の4畳半 しまねっこのお家 設置



「しまねっこ」で子どもたちと触れ合いまねっこ

島根県の観光キャラクター「しまねっこ」の活動拠点となる「しまねっこのお家（うち）」が18日、松江市殿町の県観光物産館内にオープンした。特産品の販

売拠点である同館の来館者増や観光振興につなげようと、県が設置。しまねっここと直接触れ合える場として、家族連れや女性客などの集客アップを狙っている。

## 来館者増や観光振興へ

### 松江・県物産館2階

「お家」が“建つ”と写真を撮るなどしてのは同館2階。壁を黄色にデザインした4畳半の部屋で、ちゃぶ台やフライパン、花などを見き、生活感を演出。観光パンフレットも備える。

県はしまねっこの人気や知名度を生かし、展開中の大型観光プロ

ジェクト「神々の国しまねく古事記」1300年」や、「7月に始まるメーン事業の「神話博しまねく」、県の観光施設などをPRする。オープン初日は、子どもたちがしまねっこ

楽しんだ。長女の那菜ちゃん(5)と来館した松江市国屋町の会社員、加納由美子さん(35)は「子どもはしまねっこが好きで、身近に接する場ができるうれしい。また来たい」と話した。

しまねっこは観光キャラバンなどの「出張

年」に数回、「家」に戻り、観光PRをする。

県物産観光館は県から委託を受けた県物産協会が運営。昨年は約70万人が訪れた。